

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(77)番 福山市立湯田小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	コミュニケーション	人としての思いやり	課題発見・課題解決
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	友達と自分の考えの相違に気をつけて聴きながら、筋道を立てて伝えることができる。	相手の立場に立って考え、感謝や謝罪の気持ちを素直に伝えることができる。	課題発見→課題追究→実践→振り返り→課題発見のスパイラルで、より高次の課題を解決していくことができる。

2 授業の現状

ペアトーク・グループトークを行い、児童の関わりや思考の広がり意識した授業を工夫しているが、児童が主体となり、つぶやきや気づきから、思考を深める授業は十分でない。



3 めざす授業の姿

「児童が主体となり、自分の考えを表現し、関わり合い・学び合いのある授業」
～児童の思考に「つながり」や「深まり」のある授業～

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ○単元を通してゴール(めあて)を児童主体で設定する。 ○思考や表現・活動の形態等、児童による選択・決定の場を仕組む。 ○ホワイトボード・教材提示装置等を活用し、個の思考が共有できるよう工夫する。 					

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) <児童生徒質問紙調査>(%) (肯定的評価)

	A問題	B問題		
国語	75(+2)	53(-6)	自分にはよいところがある	92.1
算数	63(-3)	47(-7)	先生はよいところを認めてくれる	90.7
理科	60(-3)		将来の夢や目標を持っている	87.8
			人の役に立つ人間になりたい	98.6

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 <児童生徒質問紙調査>(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	76.2
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	81.1
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	75.5
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	77.6

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (3)月末現在

暴力行為	0.1	不登校	1.1
------	-----	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 30 / 48	「反復横とび」「20メートルシャトルラン」については、県平均値かつ全国平均値より高い学年が増えた。 「握力」については、3年男子以外は目標値を達成しなかった。委員会の呼びかけや、全校で「握力強化取組」を行い、10月に再測定をした結果、男子は全学年、女子は3学年で県平均を上回ることができた。		
(女子) 30 / 48			
目標値	「握力」「長座体前屈」を県平均値かつ全国平均値以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	90.3	9.7
仕事に充実感がある	87.1	12.9

児童生徒アンケート(%) (3)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	80.5	19.5
自分の考えは、認められている	82.9	17.1